



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

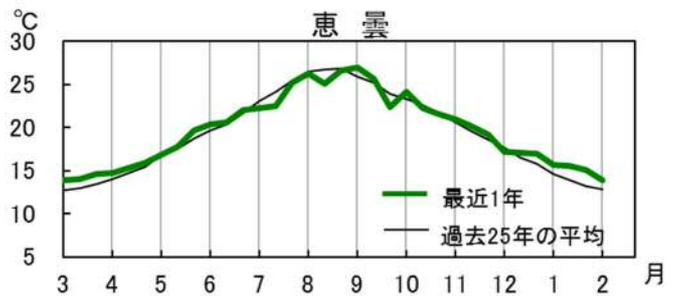
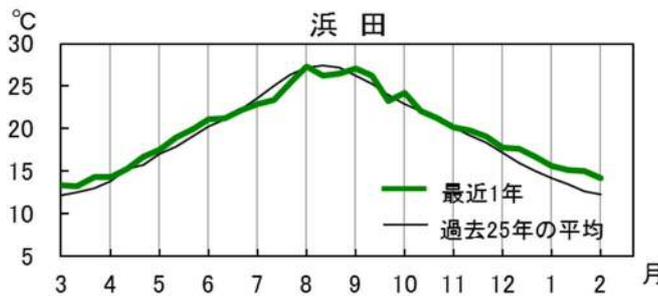
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1～2月の海況》

	1月平均	平年差	評価
浜田	15.2℃	+1.9℃	はなはだ高め
恵曇	15.4℃	+1.6℃	はなはだ高め

沿岸定地水温は、浜田地区では、1月上旬は「かなり高め」、中旬・下旬は「はなはだ高め」となり、2月に入り中旬時点で「はなはだ高め」で経過しています。恵曇地区では、1月上旬は「かなり高め」、中旬・下旬は「はなはだ高め」となり、2月に入り中旬時点で「かなり高め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、ソウダガツオ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は21.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、マアジは117トンで平年の1.7倍、ソウダガツオ類は60.3トンで平年の69倍でした。隠岐地区ではブリ、ウルメイワシ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は22.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは828トンで平年の1.4倍、ウルメイワシは218トンで平年の5.0倍、マイワシは106トンで平年の4割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の85%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の99%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は129kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ムシガレイ、アンコウを主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の2.1倍、ムシガレイは平年の1.5倍、アンコウは平年の1.3倍でした。その他、イボダイは平年の10倍、アカムツは平年の1.2倍、ケンサキイカは平年の1.3倍だった一方、ソウハチは平年の5割、マフグは平年の2割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、アンコウ、アカガレイ主体の漁況で、総漁獲量は245トン、1統1航海当りの漁獲量は869kgでともに平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.0倍、アカガレイは平年の9割でしたが、アンコウは平年の3.7倍と好調でした。その他、アカムツは平年の1.4倍、ヒラメは平年の1.6倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.2倍でしたが、ニギスは平年の8割、ヒレグロは平年の4割に留まりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではスズキ、ブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は13.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、スズキは平年の2.4倍、ブリは1.0倍でした。石見地区ではブリ、スズキ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は4.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の3.2倍、スズキは4割でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は7.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、スルメイカは平年の1割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は39kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリが平年の1.0倍でした。石見地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類が平年の1.0倍、ブリが1.1倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、ブリ、メダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、スルメイカが平年の1.2倍、ブリが6割、メダイが1.9倍でした。

【令和2年1月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、ソウダガツオ類	218トン	66%	50%	21.8トン	73%	48%	▲
	隠岐	ブリ、ウルメイワシ、マイワシ	1,369トン	29%	29%	22.4トン	35%	35%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.1トン	6%	1%	33kg	36%	4%	▲
	西郷	スルメイカ	4.3トン	74%	42%	129kg	134%	102%	○
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ムシガレイ、アンコウ	246トン	92%	102%	13.7トン	103%	111%	○
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ、アカガレイ	245トン	144%	106%	869kg	111%	109%	○
定置網 (大型)	出雲	スズキ、ブリ	111トン	80%	83%	13.9トン	80%	84%	▲
	石見	ブリ、スズキ	8トン	30%	34%	4.2トン	45%	50%	▲
	隠岐	スルメイカ	14トン	45%	20%	7.0トン	45%	20%	○
釣り・縄	出雲	ブリ	34トン	164%	74%	39kg	111%	77%	▲
	石見	サワラ類、ブリ	25トン	202%	112%	27kg	133%	87%	○
	隠岐	スルメイカ、ブリ、メダイ	13トン	118%	103%	27kg	113%	86%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較　　漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は1統当り漁獲量です。